

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域のふれあい拠点づくり事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人北信ふくしMねっと (0269-26-2266)
事業区分	保健、医療、福祉の充実
事業タイプ	ソフト
総事業費	476,290円 (うち支援金: 334,000円)

事業内容

北信地域6市町村、それぞれに1箇所拠点を設けて、「地域のふれあいの場」としての事業を行った。内容は、参加者がゴスペルグループや吹奏楽の演奏を聞いたり、一緒に歌ったり歌唱指導を受けたりするなどの音楽活動を主体とした交流の他、茶話会や小物づくりの講習会も開催した。
(開催回数: 46回、参加者数: 376人)

12月には6市町村の参加者が一堂に会して「発表会」を行い、各拠点の参加者が歌唱を披露した。発表には、各拠点で作成したバンダナ・マラカスを使用した。

また、3月には、「高齢者を地域で支えるための取り組み」を先進的に実施している認定NPO法人を講師に招いての講話会を開催し、これからの地域づくりのあり方や「人生の終活」について学んだ。



【発表会の様子】

【目標・ねらい】

- ① 地域とのかかわりの一歩
- ② おしゃべりや歌唱で発散
- ③ 地域力を高める一助

事業効果

- ① 事業を始めたばかりは、参加者も少なく寂しい会場もあったが、参加者が他の人を誘うなど徐々に多様な方たちとの交流や世代間交流などができた。毎回参加する人もいて、地域の寄り合い処となってきた。
- ② 「発表会」では、毎回の合唱や小物づくりなどの活動の成果を楽しく全員参加で行うことができ、他の地域の方との交流も図れた。
- ③ 講和会は、今後の地域づくりの活動を続けるための参考となった。

※自己評価【B】

【理由】

地域の拠点におじゃまして、少し違った風を入れていきかけたが、拠点をを見つけることがうまくできなかった。しかし少しずつおもしろそうなことをしていると認識してもらえるようになった。

今後の取り組み

地域の拠点を中野市内1箇所で頻回に開催し、他の5市町村では年2回位の開催で継続したい。地域とかわる機会の少ない認知症高齢者、障がい者、その関係者及び子育て中の親子等、音楽を愛する地域住民の方等が、楽しみながら自分らしさを発揮し、お互いを理解し、協働できる場を提供していく。

また、年1回の発表会や講話会も継続していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある